

令和5年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	研究インテグリティに関する調査等			担当部局庁	科学技術・イノベーション推進事務局	作成責任者	
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	企画官(国際担当)	宮澤 武志	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法(平11法89)第4条、第40条の4			関係する計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定)		
政策	20. 科学技術・イノベーション政策			主要経費	その他の事項経費		
施策	23. 科学技術・イノベーション基本計画の策定・推進						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	近年、研究活動の国際化、オープン化に伴う新たなリスクにより、開放性、透明性といった研究環境の基盤となる価値が損なわれる懸念や研究者が意図せず利益相反・責務相反に陥る危険性が指摘されており、こうした中、我が国として国際的に信頼性のある研究環境を構築することが、研究環境の基盤となる価値を守りつつ、必要な国際協力及び国際交流を進めていくために不可欠となっている。このような状況を踏まえ、政府としては、研究者及び大学・研究機関等における研究の健全性・公正性(研究インテグリティ)の自律的な確保を支援すべく、その確保のための取組に関する調査・整理・分析を行う。						
現状・課題 (5行程度以内)	研究活動の国際化、オープン化に伴って、研究成果の帰属が不適切に取り扱われたり、研究成果を非公開にすることが要求されたりする等、外国からの不当な影響による利益相反・責務相反や技術流出、研究環境の基盤となる価値のき損等のリスクが顕在化している。G7をはじめとする価値観を共有する国は、国際研究協力を重視・大学等の自律性を尊重しつつ、対応策が講じるとともに、国際情勢・技術の進展に対応して取組を進展させている。 我が国では、2021年4月に、政府の対応方針を決定し、大学・研究機関における研究インテグリティの自律的な確保の取組を進めている。 我が国の研究インテグリティに関する取組をより実効性あるものにするための施策を立案するために、国際情勢・技術の進展に対応して取組を進展させている諸外国の取組、国内の研究機関の現状を把握する必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	研究インテグリティは、研究の健全性・公正性を指し、従来の不正行為や、産学連携による利益相反・責務相反に対する適切な対応や安全保障貿易管理等の法令順守などに加え、近年は、研究の国際化やオープン化に伴うリスクに対して新たに確保が求められている。本事業は、研究活動の透明性を確保し、説明責任を果たすといった新たに確保が求められる研究インテグリティの取組に関して、今後の政策に活用することを目的に、諸外国の動向や、研究機関における課題および潜在的リスクなどの調査を実施する。						
事業概要URL	https://www8.cao.go.jp/cstp/kokusaiteki/integrity.html						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の状況	当初予算(A)	-	20	20	20	30
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	20	20	20	30
		執行額(G)	-	6.5	16.6	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	-	33%	83%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	33%	83%	-	-
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	科学技術・イノベーション推進事務局			G7各国が研究インテグリティに関する情報を登録し共有するためのオンラインシステムの運営に参画すること等に伴う増。重要政策推進枠:12		
	(目)	科学技術基礎調査等委託費	20.0	30.0			
	(目)	諸謝金	0.0	0.0			
		その他					
	計(A)		20	30			

活動内容① (アクティビティ)	政府の対応方針に基づき、大学・研究機関が、研究インテグリティを自立的に確保するのを政府として支援するべく、国内外の取組に関する調査を行う。								
↓									
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	研究インテグリティの確保における課題を把握するための調査を行う	研究インテグリティに関する調査報告書を取りまとめること	活動実績 当初見込み	回数	-	1	1	1	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	取りまとめた調査報告書を、研究インテグリティの施策のインプットとして活用することを成果指標とする。							
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
	研究インテグリティの確保における課題を把握するための調査を行い、その結果を次年度の施策の策定に活用する。	研究インテグリティの確保における課題を把握するための調査結果が、次年度の施策の策定に活用されていること。	成果実績	回数	-	1	1	-	
			目標値	回数	-	1	1	-	
達成度			%	-	100	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	大学・研究機関等において研究の健全性・公正性(研究インテグリティ)を自立的に確保するために、研究インテグリティの確保における課題を把握するための調査を行い、その結果を次年度の施策の策定に活用することを目標とする。令和3年度、令和4年度の調査結果は、それぞれ令和4年度、令和5年度の研究インテグリティの施策の策定に活用。(統合イノベーション戦略2022、統合イノベーション戦略2023)								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	調査結果をインプットの1つとして立案された政府の施策により「大学・研究機関の研究インテグリティを自立的に確保の取組割合が維持・向上する」ことを成果目標とする。 研究者や研究組織が、研究活動の国際化やオープン化に伴う新たなリスクに対して新たに求められる研究の健全性・公正性(研究インテグリティ)を確保している(「研究者は、研究活動の透明性を確保し、説明責任を果たす」といった観点から適切に情報開示)「大学・研究機関は、所属する研究者から報告された情報に基づき適切なリスクマネジメント」をしている状態を実現するために、大学・研究機関における研究インテグリティの自立的確保(研究インテグリティのための研修強化、体制・規程の整備)の取組割合の維持・向上を目指す。							
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
	-	-	成果実績	%	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	-	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	-							
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度	
	大学・研究機関の研究インテグリティを自立的に確保の取組割合が維持・向上する	大学・研究機関の研究インテグリティの実施状況	成果実績	%	-	-	24.3	-	
			目標値	%	-	-	-	80	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	令和3年4月に決定した政府方針に基づき令和4年度に実施した大学・研究機関等の取組状況のフォローアップ調査結果 大学・研究機関等における研究インテグリティに係る取組についての実施状況：A1、A2、A3の(A1-A3の重みが同じとみなした加重)平均 24.33% A1 研修強化 加重平均=((大学の実施中の割合)*集計対象大学数+(研究機関等の実施中の割合)*集計対象研究機関等数)/(集計対象大学数+集計対象研究機関等数) (21.17%) A2 規程整備 加重平均=((大学の実施中の割合)*集計対象大学数+(研究機関等の実施中の割合)*集計対象研究機関等数)/(集計対象大学数+集計対象研究機関等数) (30.64%) A3 体制整備 加重平均=((大学の実施中の割合)*集計対象大学数+(研究機関等の実施中の割合)*集計対象研究機関等数)/(集計対象大学数+集計対象研究機関等数) (21.17%) https://www8.cao.go.jp/cstp/kokusaiteki/integrity/ri_follow-up_fy2022.html ※ 令和4年度初めての現状把握をしたため、目標値は設定していない。								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

科学技術・イノベーション推進事務局
16.6百万円

〔研究者及び大学・研究機関等における研究の健全性・公正性(研究インテグリティ)の自律的な確保を支援する取組に関し調査・整理・分析を委託〕

A. 委託【一般競争入札(総合評価)】

公益財団法人未来工学研究所
6.6百万円

〔研究者及び大学・研究機関等における研究の健全性・公正性(研究インテグリティ)の自律的な確保を支援する取組に関し調査・整理・分析を委託〕

B. 委託【随意契約(企画競争)】

株式会社近畿日本ツーリストコーポレートビジネス
10.0百万円

〔研究者及び大学・研究機関等における研究の健全性・公正性(研究インテグリティ)の自律的な確保を支援する取組を議論するG7仙台科学技術大臣会合に関する調査を委託〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者に ついて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載）	A.			B.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	人件費	調査をする研究員の人件費	5.3	人件費	調査をする関係者の人件費	4.9	
	その他の経費	雑役務費等	0.7	その他経費	雑役務費等	1.7	
	一般管理費	一般管理費(上記の経費の10%)	0.6	一般管理費	一般管理費(上記の経費の10%)	0.6	
				再委託費	翻訳業務等	2.8	
	計		6.6	計		10	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人未来工学研究 所	4010605000134	研究インテグリティに係る調 査・分析	6.6	一般競争契約 (総合評価)	1	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社近畿日本ツーリストブルー ネット	4010001148932	研究インテグリティに関するG7仙台科学 技術大臣会合での議論に向けた調査	10	随意契約(企画 競争)	1	-	